

「社会全体で犯罪被害者を支えていく」 生命のメッセージ展 京都にて本開催

今年も、10月28日（日）京都テルサにおいて「京都ヒューマンフェスタ 2012」が開催されました。この行事は、京都人権啓発推進会議、京都人権啓発活動ネットワーク協議会及び京都府が主催する毎年恒例の人権啓発行事です。

テルサホールのステージでは安田美沙子さんのトークセッションやアンパンマンショー、鳥羽高校吹奏楽部の演奏などがありました。鳥羽高校吹奏楽部のステージでは「生命のメッセージ展」のイメージソングを作詞作曲されたPi坊さんが登場し、鳥羽高校の演奏をバックに歌を披露してくださいました。当センターも展示ブースでパネルを掲示したりパンフレットを置いたりして、犯罪被害者支援活動に対するご理解・ご協力をお願いしました。その他、犯罪被害者相談コーナーでは来場者の犯罪被害相談に応じました。

去年に引き続き、別棟でNPO法人いのちのミュージアム、京都府、京都市、京都府警察本部、京都府犯罪被害者支援連絡協議会及び当センターの主催により「生命のメッセージ展」と映画「ゼロからの風」の上映及び鈴木共子さんの講演がありました。鈴木さんはいのちのミュージアム代表で息子さんを飲酒運転の車に轢かれ亡くされたご遺族です。「メッセンジャー」という亡くなった方の等身大人型オブジェ等を展示してその足元に靴などを置き、生命の尊さを感じてもらう「生命のメッセージ展」を全国各地で開催されています。

今年の「生命のメッセージ展」は本開催ということで、154 命のメッセンジャーが会場に並びました。前日には、今春に亀岡と大阪で起こった交通事犯のご遺族がメッセンジャーを制作し、3 命のメッセンジャーが今回から新たに加わりました。制作作業等の取材が入り、報道されたこともあって、当日は予想を超える約 1300 名の方がメッセージ展に足を運んでくださいました。お忙しいなか京都府知事も会場にお立ち寄りくださり、ご遺族の思いをお聞きくださいました。会場に来てくださった方は皆

さん、メッセンジャーに貼られたお写真、亡くなられた経緯やご遺族のメッセージを一人一人熱心に丁寧に見ておられました。平穏な日常が断ち切られた理不尽な思いや大切な方を突然奪われた喪失感・苦しみ等がつづられているメッセージは、メッセージ展を見てくださった方の心に深く浸み込み、生命の大切さを改めて感じられたことと思います。

また、京都ヒューマンフェスタ 2012 に先立ち、10月20日（土）に京都市の人権啓発行事である「ヒューマンステージ・イン・キョウト 2012」も同志社大学寒梅館で開催されました。寒梅館内ハーディーホールのステージで、当センターの活動紹介を行いました。続いて、同時開催している「生命のメッセージ展」の活動発表ということで、鈴木さんのビデオメッセージを上映し、「生命のメッセージ展」サポーターズクラブ代表の長岡昇汰さん、NPO 法人 KENTO 代表の児島早苗さんが、メッセージ展を見てくださるよう呼びかけました。その甲斐あって、来場者の多くの方がメッセージ展にもお立ち寄りくださいました。

今年は主催者を始め、会場設営などの準備や当日のご案内などに大学生の若い人達もボランティアとしてたくさん関わってくださり、無事に行事を終えることができました。「社会全体で犯罪被害者を支えていく」という理念が広がりつつあることを実感いたしました。





全国被害者支援フォーラム 2012・秋期全国研修会に参加して

10月28日（金）、29日（土）、30日（日）に全国被害者支援ネットワーク主催の「全国被害者支援フォーラム 2012」、「秋期全国研修会」が東京で開催され、ボランティア2名、事務局4名が参加しました。

28日に行われたフォーラムでは、子どもの犯罪被害とその支援をテーマに、パネルディスカッションが行われました。1部では「私の犯罪被害～親と子の立場から～」という内容で、事件によって親を亡くされた方、子どもを亡くされた方のパネリスト4名が事件の内容、その当時の怒り・苦しみ・悲しみ等のお気持ち、国や社会に望む事等をお話して下さいました。2部では「子どもの性犯罪被害とその支援」について、支援

センターの相談員や、臨床心理士、行政の方がそれぞれ関わった支援について、機関での役割や問題点、今後の課題などをお話しされました。

29日、30日には全国研修会が行われました。1日目の全体会では「連携を生み出す3つの実践例から～点から線へ、線から面へ～」というテーマでパネルディスカッションが行われ、午後からの分科会では様々な内容の講義がありました。2日目の分科会の1講座では、当センターの事務局長が講師を務める等、参加したそれぞれが研修会で学んだ事、感じた事を今後の支援に役立てていきたいと思いました。

犯罪被害者支援功労団体・犯罪被害者支援特別栄誉章を受賞

この度、全国被害者支援ネットワーク及び警察庁より犯罪被害者支援特別栄誉章第一号を頂き、身に余る光栄と感謝致しております。

東京・イイノホールでの受賞式は、賞状と共に重いメダルを首に掛けてくださり、足が震える緊張でした。

ふとしたきっかけで、1970年代より障害児に偏見の無い社会を目指す啓蒙活動を知り、関わったのがボランティアへの初めての参加でした。その後、1997年に同志社大学の大谷實教授より犯罪被害者支援センター設立準備会にお誘い頂きました。1998年最初の一步を踏み出したマンションの一室を思い出します。

理事の先生方、ボランティア、支援室の熱心なご指導のもと、一步一步被害者に背を押していただき

ながら学んできました。理不尽な犯罪被害者という立場に「市民の手が必要なのだ」と言われた意味も本当に解ってきました。私は、15年に亘って支えて下さった皆様に心から感謝致します。それと共に今後、富名腰事務局長やスタッフ、ボランティアの方々が今少し、安定した経済的基盤に立って支援に進めるよう、国の施策に望みたいと願っています。

（宮井久美子）



2012年度第1回近畿ブロック研修会に参加して

8月10日、11日に奈良県猿沢の池のほりにある会場にて全国被害者支援ネットワークの2012年度第1回近畿ブロック研修会が行われました。

第1日目は、弁護士による法制度についての講演、臨床心理士による支援員の自己理解・セルフケアについての講演がありました。「支援員は希望を失わずに被害者と一緒にいる事が大切である」という言葉が心に残りました。

また、当センターが担当し、事例検討としてセンターをまたがる支援の連携を討議しました。一つの事案を

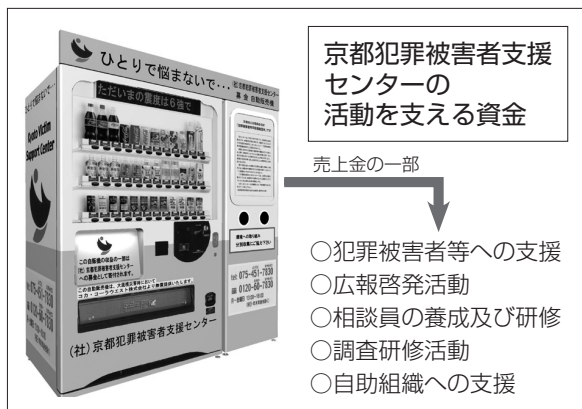
他センターや他機関と上手く連携していく事で広がる支援があるという事は、忘れてはいけない事だと思います。

第2日目は、電話相談と直接支援のロールプレイ研修が行われました。ロールプレイを通して気付ける事、理解できる事があります。研修を通して、ロールプレイの意義を改めて感じました。

この二日間の研修を通して学んだ事、改めて気付いた事を大切にして、明日への支援に繋げていけるよう、尽力していきたいと思います。

犯罪被害者支援自動販売機

京都犯罪被害者支援センター支援自動販売機は、「募金箱」との考えのもと、広く一般市民へ募金を呼びかける自動販売機です。この販売機で清涼飲料水を購入すると、売上げの一部が「京都犯罪被害者支援センターへの募金」となり、当センターの活動を支える資金となります。



センターの活動は、ボランティアが専門家のアドバイスを得ながら携わっており、電話相談、面接相談、付添などの直接的支援を通じて、被害者や遺族が抱える問題の解決や精神的苦痛などの軽減のために必要な支援を行うとともに、社会全体で被害者を支える環境づくりを目指しています。ぜひ、支援自動販売機をご利用頂き、犯罪被害者を支援する活動にご支援をお願いいたします。

支援自動販売機設置のもうひとつの目的は、広報啓発の一環としてつながっていることです。多くの人々が集まる市街地や広場等に支援自動販売機を設置する事により一人でも多くの方が私達の活動を知り、理解していただきたいと願っています。

現在、京都市内で設置されている支援自動販売機は5台です。今後も引き続き支援自動販売機の設置を増やし、支援の輪を広げるため、皆様のご協力をお願いいたします。

センターの活動を支援してくださる皆様に心より感謝申し上げます

会費及び寄付を頂戴した方々を謹んでご報告申し上げます。センターの活動をご支援くださいまして誠にありがとうございます。なお、記載漏れ等がありましたら、お手数ですが、事務局までご一報いただきますようお願いいたします。また、お名前の記載を望まれない方は、お申し出ください。

10月20日ヒューマンステージ・イン・キョウト 2012「生命のメッセージ展」及び10月28日「京都ヒューマンフェスタ 2012」の展示ブースにおきまして、募金箱を設置しましたところ、募金額は12,780円となりました。ありがとうございました。

寄付金 <平成24年6月1日～平成24年10月31日> (順不同・敬称略)
株式会社藤田産業 吉忠株式会社 京都産業大学内(株)サギタリウス企画 個人6名

平成24年度会費納入者 <平成24年6月1日～平成24年10月31日> (順不同・敬称略)

【正会員】

個人167名



【賛助会員個人】
個人268名



【賛助会員法人】

宝ホールディングス株式会社
月桂冠株式会社
日本電気化学株式会社
ニチコン株式会社
三機工業株式会社京都支店
株式会社村田製作所
丹後海陸交通株式会社
社団法人京都府バス協会
株式会社マイ
株式会社ピー・エス・アイ・コーポレーション
学校法人同志社
宗教法人壬生寺
京都府町村会
若林設備工業株式会社

株式会社島津製作所
株式会社ワコールホールディングス
オムロン株式会社
野崎印刷紙業株式会社
TOTO株式会社京都支店
積水ハウス株式会社京都支店
彌榮自動車株式会社
株式会社堀場製作所
日本新薬株式会社
株式会社松原興産
ワタキューセイモア株式会社
株式会社ミラノ工務店
有限会社 S.O.W.a

株式会社 GS ユアサ
株式会社京都銀行
京セラ株式会社
京都新聞社
社団法人京都府医師会
ワタベウエディング株式会社
社団法人京都府トラック協会
京都中央信用金庫
学校法人京都女子学園
株式会社井筒八ッ橋本舗
京都市市長会
キョーワファシリティーズ株式会社

【賛助会員団体】

京都府男女共同参画センター
舞鶴防犯協会
舞鶴東地区更生保護女性会
社会福祉法人宇治田原町社会福祉協議会
社会福祉法人八幡市社会福祉協議会
京都府八幡警察署
京都府上京警察署
一般社団法人京都府指定自動車教習所協会
下鴨交通安全協会
洛友法律事務所
京都府警察本部交通機動隊
中京区老人クラブ連合会
福知山交通安全協会
京都府警察本部交通企画課親交会
京都府警察本部組織犯罪対策第一課親睦会

春日住民福祉協議会
全舞鶴交通安全協会
社会福祉法人井手町社会福祉協議会
福知山防犯協会
上京地域暴力対策協議会
山科防犯協会
下鴨暴力追放協議会
綾部交通安全協会
京都府警察本部情報管理課
東山区シニアクラブ
株式会社京都科学
右京防犯協会

上京東部医師会
京都府警友会八幡支部
京田辺市民生児童委員協議会
京都経営者協会
四条繁栄会商店街振興組合
京都府警察本部捜査第一課
京丹後防犯協会
綾部防犯協会
京都府福知山警察署
東山料理飲食業組合
京都市地域女性連合会
有限会社ハヤシ不動産



7月7日、猛暑の中、
京都平安ホテルにてボラ
ンティアの認定式が行わ
れました。新規の13期
生7名を含む27名に委
嘱状が交付されました。

理事、先輩ボランティア、研修生等が見守る中、
大谷代表理事より一人ずつ委嘱状が手渡され、その
後、それぞれが心に持つ決意を述べ、新たなスター
トを踏み出しました。

締めくくりは、大谷代表理事より、ボランティアに
よって成り立ってきたこのセンターの意義と激励の
言葉が述べられ、和やかな中に認定式を終えました。



今年度のボランティア
の募集は、ホームページや
新聞を通して行い、11月16日をもって締切りをし
ました。12名の応募がありました。

今後、12月から1月にかけて、12講座の研修を
行っていきます。研修を通して、支援活動の理解を
深め、当センターの新たな力となるよう期待してい
ます。



「性暴力」

読売新聞大阪本社社会部 著
中央公論新社



本書は、5章で構成されている。被害者たちの沈痛な叫び、加害者の心理、子供に対する深刻な被害に焦点が当てられている。また、海外の実情、法廷で何が起きているかが書かれている。

性暴力の被害者たちは、苦しみを抱えながら息を潜めて生きている事が少なくない。私たちは、こうした被害者の「声なき声」に耳を傾け、寄り添う事を求められている。本書を読み終え、後を絶たない性暴力の被害者に対し、何が出来るのかを考えさせられる。是非、「性暴力とは何か」を理解するために本書を読んでいただきたい。

さまざまなところへ講師を派遣

相談や支援に携わっているボランティア等が、他の支援センターや機関等に出向き、支援の現状や被害者の心情についての講話をしています。

また、当センターの活動についての講演等も行っています。

京都拘置所 4／5、11、5／17、6／4、
7／12、9／5、14、10／15、24
京都刑務所 8／17

家庭裁判所 4／24、5／22、6／26、7／24、
8／21、9／25、10／23

被害者サポートセンターおかやま 9／1

全国被害者支援ネットワーク中国・四国ブロック研修会 9／8

京都司法書士会 10／4

司法修習生研修 京都地方検察庁 10／9
京都弁護士会 10／31

京丹後犯罪被害者支援連絡協議会 8／8

山城広域振興局人権問題職場研修 10／11、12

研修会の実施・参加

14期生研修会	4／14（オリエンテーション）、5／26、6／23、7／28（電話相談について） 8／25（電話相談員になるまで） 10／6（電話相談の流れ、ロールプレイ研修について）
月例研修会	5／16（最近の交通犯罪を中心に）、6／21（支援体験を中心に） 7／20（電話相談のリピーターに対する対応について） 9／21（直接支援ロールプレイ）、10／25（DV被害者支援について）
ロールプレイ研修	6／23、30
その他	5／23、24 全国被害者支援ネットワーク 新任事務局長・事務局担当者のための研修 8／10、11 第1回全国被害者支援ネットワーク近畿ブロック研修会 9／28 全国被害者支援フォーラム2012 9／29、30 全国被害者支援ネットワーク秋期全国研修会



●●● 支援活動状況 ●●●

(平成24年度：平成24年4月～平成24年9月)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
電話相談	フリーダイヤル	78	52	52	26	20	31	259
	451 - 7830	15	8	7	10	10	12	62
	電話相談合計	93	60	59	36	30	43	321
面接相談	面 接 相 談	18 (8)	16 (6)	15 (4)	9 (7)	11 (7)	10 (5)	79 (37)
	内カウンセリング	9	8	10	2	4	1	34
直 接 支 援		39 (14)	32 (11)	42 (14)	33 (18)	28 (20)	57 (47)	231 (124)

() 数字は警察からの情報提供分

●●●●● 事務局日誌 ●●●●●

6月	7月5日	8月22日
6月1日 面接相談、人づくり21世紀委員会幹事会	面接相談、裁判傍聴、法律相談付添	会計コンサルティング
6月2日 HP 更新	7月6日 面接相談	8月23日 八幡市役所訪問、京都府人権啓発指導者養成研修会②
6月4日 面接相談、京都拘置所にて講話	7月7日 臨時社員総会、委嘱状交付式、第3回理事会	8月25日 14期生研修会
6月5日 法律相談付添、府民相談相互連絡ネットワーク会議	7月9日 会計コンサルティング	8月26日 KBS 京都ラジオ出演
6月6日 会計コンサルティング 京都府暴力追放運動推進センター定時評議員会	7月10日 面接相談	8月27日 京都府警察本部長来局
6月7日 面接相談、検察庁付添	7月12日 八幡市役所訪問、京都拘置所にて講話	8月28日 第5回運営委員会
6月8日 面接相談	7月17日 面接相談	8月29日 山科区更生保護協会・更生保護女性会・保護司会合同研修
6月9日 面接相談	7月18日 配偶者等からの暴力に関するネットワーク京都会議	8月31日 面接相談、クリニック付添、法律相談付添 京都造形芸術大学にて講話
6月11日 弁護士会と意見交換	7月19日 裁判傍聴	9月
6月12日 代理傍聴2件、裁判付添	7月20日 面接相談、月例研修会	9月1日 生活支援、被害者サポートセンターおかやま研修
6月13日 代理傍聴、裁判付添	7月21日 自宅訪問、法律相談	9月3日 京都府警察本部長より表彰、報道各社より取材
6月14日 代理傍聴、裁判付添	7月22日 面接相談	9月5日 面接相談、傍聴付添、京都拘置所にて講話
6月15日 代理傍聴、裁判付添、第3回運営委員会 京都府犯罪被害者支援連絡協議会総会	7月23日 医療機関付添	9月7日 生活支援
6月19日 第2回理事会	7月24日 家庭裁判所にて講話、第4回運営委員会	9月8日 中国・四国ブロック研修会
6月20日 会計コンサルティング	7月25日 裁判傍聴	9月9日 面接相談
6月21日 月例研修会	7月31日 女性のための相談ネットワーク会議	9月10日 裁判傍聴、犯罪被害者等施策市町村担当者研修会(北・中部)
6月22日 亀岡市役所訪問、毎日新聞取材	8月	9月11日 裁判傍聴
6月23日 HP 更新、14期生研修、ロールプレイ研修	8月4日 法律相談付添、HP 更新	9月12日 裁判傍聴
6月25日 面接相談2件	8月7日 面接相談2件、医療機関付添	9月13日 面接相談、裁判傍聴、犯罪被害者等施策市町村担当者研修会(南部)
6月26日 家庭裁判所にて講話	8月8日 京丹後犯罪被害者支援連絡協議会総会	9月14日 面接相談、法律相談付添、京都拘置所にて講話
6月27日 裁判傍聴	8月9日 面接相談、裁判傍聴、クリニック付添	9月18日 裁判傍聴
6月28日 面接相談	8月10日 近畿ブロック研修会①奈良	9月19日 裁判傍聴、面接相談、生活支援
6月30日 ロールプレイ研修	8月11日 近畿ブロック研修会②奈良	9月20日 裁判傍聴
7月	8月17日 面接相談、京都刑務所にて講話	9月21日 月例研修会
7月2日 いのちを考える教室(桃陵中学校)	8月19日 KBS 京都ラジオ出演	
7月4日 面接相談	8月20日 面接相談	
	8月21日 家庭裁判所にて講話、京都府人権啓発指導者養成研修会①	



9月23日 面接相談、その他付添等	10月6日 14期生研修会	10月20日 ヒューマンステージ・イン・
9月24日 裁判傍聴、京都府北部市町	10月8日 自宅訪問	キョウト2012、生命のメッ
村訪問	10月9日 面接相談、法律相談付添、	セージ展
9月25日 京都府北部市町村訪問、家	司法修習生研修（検察庁）	10月21日 HP 更新
庭裁判所での講話	10月10日 裁判傍聴、第4回理事会	10月23日 面接相談、家庭裁判所にて
9月26日 面接相談、法律相談付添2	10月11日 面接相談、山城広域振興局	講話
件	人権問題職場研修①	配偶者等からの暴力に関す
9月28日 全国被害者支援フォーラ	10月12日 山城広域振興局人権研修会	るネットワーク京都会議
ム、自宅訪問	②	10月24日 京都拘置所にて講話
9月29日 秋期全国研修会①、自宅訪	10月14日 自宅訪問	10月25日 月例研修会
問	10月15日 会計コンサルティング、京	10月26日 企業向け人権啓発講座
9月30日 秋期全国研修会②	都拘置所にて講話、日本財	10月28日 京都ヒューマンフェスタ
10月	団来局	2012、生命のメッセージ展
10月1日 裁判傍聴	10月16日 面接相談、裁判傍聴、法律	10月30日 面接相談、認知行動療法セ
10月3日 面接相談	相談付添	ミナー
10月4日 面接相談、司法書士会研修	10月17日 面接相談	10月31日 裁判傍聴、司法修習生研修
10月5日 面接相談、第6回運営委員	10月18日 裁判傍聴、南丹警察署訪問	(弁護士会)
会	10月19日 面接相談、クリニック付添	

第13回犯罪被害者支援 京都フォーラムを 京都市とともに開催

日 時：平成25年2月2日（土）
13：00～16：00

場 所：京都平安ホテル

内 容：

テーマ「犯罪被害者への配慮について考える」

基調講演

演題「裁判員裁判と犯罪被害者への配慮」

講師：杉田宗久氏

（同志社大学大学院司法研究科教授）

シンポジウム

テーマ「犯罪被害者と報道」

パネリスト：遺族、報道関係者、学者、弁護士

コーディネーター：京都犯罪被害者支援センター

会員になってください

一緒にセンターを支えてくださる会員を募っています。

正 会 員 年会費 5,000 円

賛助会員 個人会員年会費 1 □ 3,000 円

法人以外の団体年会費 1 □ 3,000 円

法人会員年会費 1 □ 30,000 円

ご寄付をお願いします

金額や口数に関係なく随時受け付けています。

振 込 先

振込口座：

京都銀行 府庁前支店（普通）3939038

□座名義：

公益社団法人京都犯罪被害者支援センター
代表理事 大谷 實（オオヤミノル）

郵便振替口座番号：00980-0-128119

加入者名：公益社団法人京都犯罪被害者支援
センター

入会に関するお問合せは事務局までご連絡ください。
また、ホームページからもご入会いただけます。

◇今年の紅葉は一段と美しい。御所の紅葉を眺めながら、護王神社を西に入って…と電話での地図案内もスムーズになってきました。

引越し当時の雑然とした様子はすっかり落ち着き、新体制も整い、歯車はしっかり廻っています。しかし、廻り続けるための油が必要なのです。その為の苦闘が今しばらく続きそうです。

。。。お願い 住所変更された方は、お手数ですが事務局までご一報下さいますようお願い致します。。。。

ホームページもご覧下さい

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kvsc7830/>

発行所 公益社団法人京都犯罪被害者支援センター

事務局 TEL & FAX 075-415-3008

E-mail kvsc7830@mbx.kyoto-inet.or.jp

印刷 為国印刷株式会社